

輸出事業計画

※申請者名：株式会社ひのでや、品目：かんしょ・かんしょ加工品

1. 輸出における現状と課題

【輸出の現状】

- ・アジア向けに生芋を中心とした輸出。
- ・品種は東南アジアで需要が多い「べにはるか」。

【輸出の課題】

- ・国内外の需要を満たすための原料の確保。
- ・長期輸送に耐えるための品質の向上。
- ・現地量販店での他国産かんしょとの差別化。
- ・生芋と併せた加工品の展開による利益の確保。

2. 輸出事業計画の取組内容

☆生芋を中心とした輸出の維持・拡大☆

【目的】

生芋でアジア向けの輸出を継続し、現地ボリュームゾーン（中間層）への日本産かんしょの浸透を目指す。

【取り組み内容】

○生産面

- ・栽培指導や生産資材の提供を軸とした生産者との連携強化による原料の確保。
- ・基腐病への対応や施肥設計の見直しによる自社生産量の維持・拡大。
- ・洗浄や乾燥方法の見直しにより長期輸送に耐える品質を確保。
- ・キュアリング庫等の長期保管設備の整備。

○流通面

- ・生芋の長期輸送を可能とする輸送技術の試験と輸送試験の実施。

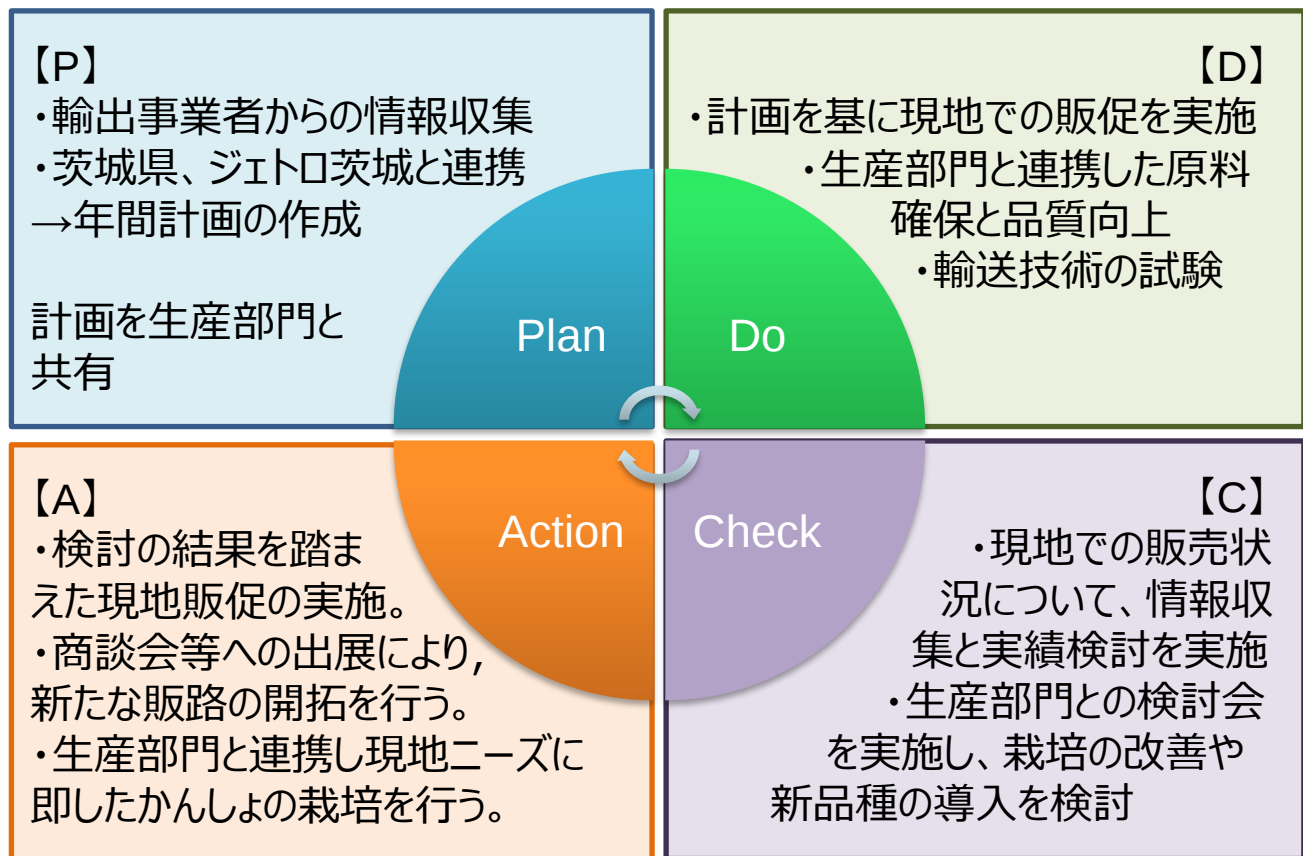
○販売面

- ・自社ブランド「紅和み」の展開により、他国産等との差別化を図る。
- ・冷凍焼き芋等の加工品とのセット販売により、売上及び利益率の向上を図る。

輸出事業計画

※申請者名：株式会社ひのでや、品目：かんしょ・かんしょ加工品

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

- ・東南アジアを中心に「べにはるか」を中心とした生芋の輸出を継続。
- ・現地中間層への日本産かんしょの浸透により輸出数量増を目指す。

	【現状】 (令和2年度)	【目標】 (令和7年度)
品目	生芋中心	生芋中心
輸出額	約2,200万円	3,000万円
輸出量	90t	120t
主な輸出先	東・東南アジア	東・東南アジア